

箕面の森は、自然災害から私たちの「いのちとくらし」を守れるのか？

日時

2019年12月8日(日)

13:30~15:45

会場

箕面文化・交流センター

8階大会議室

(阪急箕面駅前みのおサンプルラザ)

参加費
無料

森林が持つ持続可能な防災・減災機能を引き出し、活用することが重要です。
未来のために、今、私たちが箕面の森でできることを考えましょう！

※プログラムの内容は裏面をご覧ください



箕面の森は、自然災害から私たちの「いのちとくらし」を守れるのか？

日 時：2019年（令和元年）12月8日（日） 13：30～15：45

場 所：箕面文化・交流センター 8階大会議室（阪急箕面駅前）

参加費
無料

みどりのまちづくりが魅力の一つである箕面では豊かな自然環境を保全することが大切であり、森林が持つ持続可能な防災・減災機能を引き出し、活用することが重要です。防災、減災のために、箕面川ダムのような人工構造物によるインフラ整備だけでなく、森林が持つさまざまな機能をうまく組み合わせ、お互いに補い合うことが、有効な対策の一つとして期待されています。

本フォーラムでは、地球温暖化による気候変動、近年多発する極端な気象現象などに対して、どのように適応していくのか？

未来のために、今、私たちが箕面の森でできることを具体的に考えたいと思います。

■ 講演 ■ 13：35～

13：00 開場・受付開始 13：30 開催挨拶

●豊かな自然の恵みと災害の脅威、災害に強い箕面の森づくりを考える

箕面の地形や自然植生、箕面の森の現状 ・災害に強い森づくりの取り組みについて

兵庫県立大学 名誉教授 兵庫県南但馬自然学校 校長 服部 保

■ 報告 ■ 14：20～

●災害に強い森づくりと国有林の取り組みについて

～箕面国有林の現状と台風被害からの森林の再生について～

林野庁 近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所 所長 勝占 保

●「こもれびの森」における自然林の再生について

～風倒木対策事業の報告と今後の自然林の再生について～

明治の森箕面自然休養林管理運営協議会 事務局 高島 文明

●山麓部での山林整備サポートの活動について

～民有林における山林所有者の悩みと市民が出来ること～

NPO法人みのお山麓保全委員会 代表理事 角山 年昭

■ ディスカッション ■ 15：15～

●箕面の森で、できることを具体的に考える

参加申込

※定員100名（先着順）になり次第締切

①WEB：山麓委員会に掲載の申込フォームからお申込みください。

②FAX：氏名・所属団体・連絡先をご記入の上、山麓委員会までお送りください。



申込フォーム
QRコード

NPO法人 みのお山麓保全委員会

箕面市箕面6丁目3-1

みのおサンプラザ1号館2階211号室

TEL・FAX：072-724-3615

E-mail yama-nami@yama-nami.net

ホームページ www.yama-nami.net（検索：山なみネット）



阪急箕面駅下車
徒歩1分

地下鉄御堂筋線
千里中央より
バス20分

場所：箕面文化・交流センター 8階 大会議室